

新型コロナ感染症が鎮静化する中、今後の町会運営の課題を考える 会長 小林富次

今年5月5日、世界保健機関は新型コロナウイルス感染症につき緊急事態宣言の終了を発表され、わが国も、同月8日から感染症法上、インフルエンザ並みの5類に引下げられました。

専門家の見解では、抗体が浸透しても個人差があり、変異株が発現するかも不明として、各人の予防意識を喚起しています。

このような中、三河台地区町内会、関係団体では、対面式の総会等が復活しています。

わが東町会総代会は、新築間もない野田町集会所で開催。事業計画、予算書等は原案通り承認され、役員改選期に当り、新任一名、更新十一名の就任が賛同を得ました。

議事審議の後、代議員（班長）と意見交換し、色々なご意見、ご提案等頂きました。

特に、地域生活上の問題提起（「ヨークタウン野田」駐車場北西出入口と市道交差部の交通事故予防対策）については、該当班長、区長等と現地を調査。役員会協議を経て今年度「西地区自治振」へ交通安全表示などの提案書を提出しました。

さて、先日、国の機関から五十年後の人口推計が出されました。ピーク時から半減する見通しを受け、国は、都道府県レベルの推計を使いながら持続可能な地域計画づくりにも役立てられたいとの事。人口減少の影響は、既に色々な形で問題になっています。各種学校始め、公民館など地域公共施設の統廃合、赤字路線廃線……。

町会運営においても、少子化＋人生百年時代を肝に、●役員成り手確保問題、●デジタル技術を生かした地域福祉社会づくり等に取組んでいきたいと考えます。



平成25年から12年四区長を務めた渡辺〇〇さんに代わり環境衛生担当理事から四区長に就任した菅野〇〇さん。車好きの物知りです。



その渡辺正夫さんの抜けた理事を補充する意味で新規就任した安齋〇〇さん。菅野〇〇さんに代わり環境衛生を担当します。



定年で惜しまれて退任した落合俣子民生委員の代わりに登場したのが遠藤〇〇新民生委員。落合さんの担当地区を務めます。



新しい野田連合長寿会会長の及川〇〇さん。突然死去された児玉さんの後任です。暇を持て余す65歳以上方はWelcome(ウェルカム)です。

発行済の回覧文書は〈福島市電子町内会ウェブサイト〉〈本庁（地域共創課）〈中央地区〉〈野田町東町会〉〈町内会からのお知らせ〉からいつでもご覧になれます。



令和5年度総代会の様子



監査会の様子

●令和五年度第一回役員会の様子  
標記役員会は五月七日野田町集会所和室でおこなわれました。

新体制発足なので職務の分担や担当が決められ、自治振討議テーマをさぐり、この「のだこち」二十七号の発行も決まりました。

●四月十四日曜日に令和四年度監査会が行なわれました。

新装野田町集会所和室で一区の佐藤〇〇子監事と二区の佐々木〇一監事の厳しい監査を受け、無事適正のお墨付きを頂きました。

●監査会・四月十六日の総代会事前役員会をへて四月二十三日に令和五年度総代会が開催されました。

議事の前に平成二十五年から十年間に亘り四区長を務めた渡辺正夫区長の退任に対し町会から感謝状と記念品が授与されました。

議長は二区の伊藤〇〇理事に努めて頂きました。審議は肅々と進み、議事後のフリートークはゴミ集積所問題や表面の会長談話に出てきたベニマル角の交通問題討議で盛り上がりしました。



50年間こちそうさまでした

まんさく食堂が閉店しました。先代の斎藤会長の時代は町会でも懇親の場でも利用していました。

二月末で閉店のメッセージが貼り出されるや行列が出現し拡大してきました。

「五十年間ありがとう」の張り紙の後には再開を誓うメッセージも貼り出され大盛況の内に閉店となりました。

また煮込みカツ丼が喰えるといいですね。



西町跨線橋の跨道橋工所用巨大クレーン

突然出現した巨大クレーンを見て驚きました。

山形新幹線の東北本線への上り線のアプローチ線の西町陸橋を跨ぐ工事が始まるのかと偵察に行くと橋桁部分は見当たらずすぐでは無いようでした。クレーンは幅が20mもあるような正に巨大なものでした。



ふくしまシティハーフマラソン

第一回のふくしまシティハーフマラソン開催というので出場しそうな知人が二人いたのでカメラを携えて応援と冷やかしに出かけました。コラッセ福島の西、商工中金付近のスタートから五km地点に陣取っている。何とスタート八時から十五分経過でトップの選手が通過していきました。時速二十kmペースの計算です。家に帰ってから写真見たらトップは川内優輝選手でした。知人は参加していませんでした。